

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月19日

上場取引所 東 大 名

上場会社名 日本興亜損害保険株式会社
 コード番号 8754 URL <http://www.nipponkoa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 兵頭 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループリーダー (氏名) 田村 和久
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月28日

TEL (03)3593-5127

(金額は単位未満切捨、諸比率は四捨五入)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	471,610	△0.8	20,339	△7.3	12,836	2.2
19年9月中間期	475,281	△2.4	21,938	125.4	12,565	90.0

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月中間期	16.83	16.81	16.81	16.81
19年9月中間期	16.04	16.02	16.02	16.02

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
20年9月中間期	3,265,919	475,115	475,115	14.5	14.5	622.36	622.36	
20年3月期	3,323,190	543,198	543,198	16.3	16.3	711.58	711.58	

(参考) 自己資本 20年9月中間期 474,445百万円 20年3月期 542,391百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.50	7.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	950,000	△2.6	14,000	△21.1	9,000	0.1	11.87	11.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年9月中間期	816,743,118株	20年3月期	816,743,118株
② 期末自己株式数	20年9月中間期	54,414,313株	20年3月期	54,517,315株
③ 期中平均株式数(中間期)	20年9月中間期	762,293,448株	19年9月中間期	783,217,864株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	339,188	△3.8	20,104	△7.3	12,719	6.9
19年9月中間期	352,736	△1.3	21,678	247.0	11,899	195.3

1株当たり中間純利益	
	円 銭
20年9月中間期	16.68
19年9月中間期	15.19

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月中間期	2,862,798	471,674	16.5	618.34
20年3月期	2,974,225	537,131	18.0	704.15

(参考)自己資本 20年9月中間期 471,380百万円 20年3月期 536,722百万円

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	△4.2	14,000	△16.5	9,000	14.3	11.87

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 上記に記載しております通期の業績予想に関しましては、平成20年5月21日発表時点から予想数値を修正しております。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、28ページ「10. 平成21年3月期の通期業績予想」をご参照ください。

3. 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間のわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や世界経済の減速、原材料価格の高騰などの影響により、企業収益が減少したほか、民間設備投資や個人消費も減速基調で推移するなど、景気は後退色を強めてまいりました。

このような中で、当中間連結会計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、保険引受収益が4,386億円、資産運用収益が317億円、その他経常収益が11億円となったことにより、前中間連結会計期間に比べて36億円減少し、4,716億円となりました。

一方、経常費用は、保険引受費用が3,681億円、資産運用費用が121億円、営業費及び一般管理費が704億円、その他経常費用が5億円となったことにより、前中間連結会計期間に比べて20億円減少し、4,512億円となりました。

以上の結果、経常利益は203億円となり、前中間連結会計期間に比べて15億円減少いたしました。これに特別損益を加減し、税効果会計による調整後の法人税等及び少数株主利益を控除した中間純利益は128億円となり、前中間連結会計期間に比べて2億円の増加となりました。

損害保険事業については、正味収入保険料が前中間連結会計期間に比べて135億円減収し、3,448億円となり、正味支払保険金が前中間連結会計期間に比べて12億円減少し、2,004億円となりました。また、主要種目である自動車保険については、正味収入保険料が25億円減収し、1,674億円となり、正味支払保険金が17億円減少し、992億円となりました。

一方、生命保険事業については、生命保険料が前中間連結会計期間に比べて11億円増加し、321億円となりました。また、生命保険金等は54億円となり、前中間連結会計期間に比べて1億円減少しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

株式相場下落などにより、前連結会計年度末に比べて、その他有価証券評価差額金が735億円減少したことから、総資産は572億円減少し、3兆2,659億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績は、経常収益9,500億円、経常利益140億円、当期純利益90億円、個別業績は、正味収入保険料6,600億円、経常利益140億円、当期純利益90億円を見込んでおります。

これらの業績予想の前提は、平成20年5月21日公表の当初予想に最近の業績の動向及び経済環境を勘案して以下のとおりとしております。

保険引受に係る見通しにあたっては、平成20年4月1日以降始期契約の自賠責保険の料率改定の影響及び過去からの業績の推移と当中間期までの動向等を勘案した当社独自の予測に基づいております。なお、自然災害による正味支払保険金は90億円を織り込んでおります。

資産運用に係る見通しにあたっては、当初は株式相場等が概ね平成20年3月末の水準で推移する仮定によっておりましたが、今回は最近の株式相場等の状況が継続する仮定に変更しております。このため、資産運用損益は当初予想を下回るものと見込んでおります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「リース取引に関する会計基準」の適用

当社における所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号）が平成 20 年 4 月 1 日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。なお、この変更による経常利益及び税金等調整前中間純利益に与える影響は軽微であります。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当中間連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による経常利益及び税金等調整前中間純利益への影響は軽微であります。

5. 中間連結財務諸表
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	107,135	104,768
コールローン	25,611	46,000
買現先勘定	16,972	5,997
債券貸借取引支払保証金	30,881	—
買入金銭債権	14,983	23,983
金銭の信託	80,927	82,662
有価証券	2,426,594	2,536,140
貸付金	230,695	225,514
有形固定資産	128,516	130,377
無形固定資産	1,241	1,270
その他資産	161,447	167,567
繰延税金資産	42,925	1,203
貸倒引当金	△2,012	△2,295
資産の部合計	3,265,919	3,323,190
負債の部		
保険契約準備金	2,632,810	2,642,404
支払備金	293,911	292,584
責任準備金等	2,338,899	2,349,819
その他負債	106,934	71,482
退職給付引当金	22,036	36,411
賞与引当金	6,275	6,209
役員賞与引当金	—	8
特別法上の準備金	22,441	21,062
価格変動準備金	22,441	21,062
繰延税金負債	12	1,972
負ののれん	293	439
負債の部合計	2,790,803	2,779,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,249	91,249
資本剰余金	46,702	46,702
利益剰余金	172,927	165,741
自己株式	△51,492	△51,592
株主資本合計	259,386	252,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216,421	289,992
繰延ヘッジ損益	1,024	1,790
為替換算調整勘定	△2,386	△1,492
評価・換算差額等合計	215,059	290,291
新株予約権	294	408
少数株主持分	376	398
純資産の部合計	475,115	543,198
負債及び純資産の部合計	3,265,919	3,323,190

(2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	475,281	471,610
保険引受収益	440,183	438,621
(うち正味収入保険料)	358,480	344,887
(うち収入積立保険料)	35,019	37,589
(うち積立保険料等運用益)	13,109	13,071
(うち生命保険料)	31,000	32,193
(うち責任準備金等戻入額)	2,311	10,188
資産運用収益	34,597	31,796
(うち利息及び配当金収入)	31,068	32,563
(うち金銭の信託運用益)	1,053	458
(うち有価証券売却益)	15,283	11,587
(うち積立保険料等運用益振替)	△13,109	△13,071
その他経常収益	501	1,191
経常費用	453,343	451,270
保険引受費用	376,020	368,117
(うち正味支払保険金)	201,726	200,467
(うち損害調査費)	18,258	17,651
(うち諸手数料及び集金費)	63,660	59,894
(うち満期返戻金)	86,322	82,400
(うち生命保険金等)	5,572	5,465
(うち支払備金繰入額)	247	1,513
資産運用費用	5,257	12,176
(うち金銭の信託運用損)	938	719
(うち有価証券売却損)	1,393	2,863
(うち有価証券評価損)	2,092	6,453
営業費及び一般管理費	71,725	70,474
その他経常費用	340	503
(うち支払利息)	25	84
経常利益	21,938	20,339
特別利益	123	107
特別損失	1,835	1,606
特別法上の準備金繰入額	1,351	1,379
価格変動準備金繰入額	1,351	1,379
その他	483	226
税金等調整前中間純利益	20,226	18,840
法人税及び住民税等	10,858	7,525
法人税等調整額	△3,226	△1,538
少数株主利益	28	17
中間純利益	12,565	12,836

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	91,249	91,249
当中間期末残高	91,249	91,249
資本剰余金		
前期末残高	46,702	46,702
当中間期変動額		
自己株式の消却	—	—
自己株式の処分	△44	△58
負のその他資本剰余金の振替	44	58
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	46,702	46,702
利益剰余金		
前期末残高	172,244	165,741
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,971	△5,716
中間純利益	12,565	12,836
負のその他資本剰余金の振替	△44	△58
在外子会社の会計処理統一に伴う増加	—	124
当中間期変動額合計	6,549	7,185
当中間期末残高	178,794	172,927
自己株式		
前期末残高	△23,318	△51,592
当中間期変動額		
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の消却	—	—
自己株式の処分	84	141
当中間期変動額合計	△37,736	100
当中間期末残高	△61,055	△51,492
株主資本合計		
前期末残高	286,877	252,099
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,971	△5,716
中間純利益	12,565	12,836
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の処分	39	82
在外子会社の会計処理統一に伴う増加	—	124
当中間期変動額合計	△31,187	7,286
当中間期末残高	255,689	259,386

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	480,712	289,992
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△24,666	△73,571
当中間期変動額合計	△24,666	△73,571
当中間期末残高	456,046	216,421
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	87	1,790
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	84	△765
当中間期変動額合計	84	△765
当中間期末残高	171	1,024
為替換算調整勘定		
前期末残高	△1,303	△1,492
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	666	△894
当中間期変動額合計	666	△894
当中間期末残高	△637	△2,386
評価・換算差額等合計		
前期末残高	479,495	290,291
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△23,914	△75,231
当中間期変動額合計	△23,914	△75,231
当中間期末残高	455,580	215,059
新株予約権		
前期末残高	268	408
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△37	△114
当中間期変動額合計	△37	△114
当中間期末残高	231	294
少数株主持分		
前期末残高	382	398
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	26	△22
当中間期変動額合計	26	△22
当中間期末残高	408	376

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
純資産合計		
前期末残高	767,024	543,198
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,971	△5,716
中間純利益	12,565	12,836
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の処分	39	82
在外子会社の会計処理統一に伴う増加	—	124
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△23,925	△75,368
当中間期変動額合計	△55,113	△68,082
当中間期末残高	711,910	475,115

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	20,226	18,840
減価償却費	3,317	3,410
減損損失	118	134
のれん償却額	△146	△146
支払備金の増減額 (△は減少)	245	1,517
責任準備金等の増減額 (△は減少)	△2,841	△10,769
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△170	△281
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,568	△21,548
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	65
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△8
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	1,351	1,379
利息及び配当金収入	△31,068	△32,563
有価証券関係損益 (△は益)	△12,124	△2,316
支払利息	25	84
為替差損益 (△は益)	4	△7
有形固定資産関係損益 (△は益)	242	△14
貸付金関係損益 (△は益)	—	37
金銭の信託関係損益 (△は益)	231	677
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	5,335	3,530
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△3,526	1,309
その他	△946	△2,079
小計	△21,340	△38,748
利息及び配当金の受取額	31,481	32,999
利息の支払額	△25	△82
法人税等の支払額	△7,765	△4,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,350	△10,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	4,552	2,485
買入金銭債権の取得による支出	△1,501	△990
買入金銭債権の売却・償還による収入	3,368	3,881
金銭の信託の増加による支出	△8,800	△3,400
金銭の信託の減少による収入	9,415	4,040
有価証券の取得による支出	△500,357	△440,980
有価証券の売却・償還による収入	504,164	447,243
貸付けによる支出	△23,139	△30,362
貸付金の回収による収入	28,425	25,143
債券貸借取引支払保証金・受入担保金の純増減額	—	602
資産運用活動計	16,128	7,663
営業活動及び資産運用活動計	18,478	△2,380

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
有形固定資産の取得による支出	△4,106	△1,868
有形固定資産の売却による収入	348	219
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,517	—
その他	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,887	6,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△37,821	△40
自己株式の売却による収入	39	82
配当金の支払額	△5,971	△5,716
少数株主への配当金の支払額	△13	△12
その他	△49	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,816	△5,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	330	△277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,248	△10,222
現金及び現金同等物の期首残高	163,661	140,825
現金及び現金同等物の中間期末残高	137,413	130,602

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの経常収益の合計及び経常利益の合計額に占める「損害保険事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

なお、投資事業は保険事業の一環として行っており、独立したセグメントではありません。

当中間連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	損害保険事業 (百万円)	生命保険事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益及び経常損益					
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常収益	457,009	37,293	494,302	(22,692)	471,610
(2) セグメント間の内部経常収益	447	11	459	(459)	—
計	457,456	37,305	494,761	(23,151)	471,610
経常費用	437,188	37,234	474,422	(23,151)	451,270
経常利益	20,268	70	20,339	—	20,339

(注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社における業務の実態を勘案して区分しております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

(1) 損害保険事業・・・損害保険引受業務及び資産運用業務

(2) 生命保険事業・・・生命保険引受業務及び資産運用業務

3. 当中間連結会計期間における外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、「生命保険事業」に係る経常費用のうちの責任準備金等繰入額を中間連結損益計算書上は経常収益のうちの責任準備金等戻入額に含めて表示したことによる振替額であります。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの経常収益の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

同上

【海外売上高】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高（経常収益）が連結売上高（経常収益）の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当中間連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

同上

6. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	86,468	84,335
コールローン	25,000	46,000
買現先勘定	16,972	5,997
買入金銭債権	14,983	23,983
金銭の信託	44,256	45,574
有価証券	2,153,838	2,279,681
貸付金	219,084	214,837
有形固定資産	127,770	129,555
無形固定資産	1,199	1,203
その他資産	146,750	155,481
繰延税金資産	40,026	—
貸倒引当金	△1,998	△2,269
投資損失引当金	△11,554	△10,156
資産の部合計	2,862,798	2,974,225
負債の部		
保険契約準備金	2,275,132	2,307,493
支払備金	285,984	284,711
責任準備金	1,989,148	2,022,782
その他負債	66,483	65,091
未払法人税等	6,780	3,508
その他の負債	59,702	61,583
退職給付引当金	21,776	36,189
賞与引当金	5,727	5,707
役員賞与引当金	—	3
特別法上の準備金	22,003	20,660
価格変動準備金	22,003	20,660
繰延税金負債	—	1,948
負債の部合計	2,391,123	2,437,094

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,249	91,249
資本剰余金		
資本準備金	46,702	46,702
資本剰余金合計	46,702	46,702
利益剰余金		
利益準備金	36,947	35,647
その他利益剰余金	133,978	128,334
配当引当積立金	34,385	34,385
異常損失準備金	54,000	54,000
海外投資等損失準備金	0	0
特別償却準備金	—	—
圧縮記帳積立金	2,992	2,992
別途積立金	25,962	25,962
繰越利益剰余金	16,638	10,994
利益剰余金合計	170,926	163,981
自己株式	△51,492	△51,592
株主資本合計	257,385	250,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	212,970	284,592
繰延ヘッジ損益	1,024	1,790
評価・換算差額等合計	213,995	286,382
新株予約権	294	408
純資産の部合計	471,674	537,131
負債及び純資産の部合計	2,862,798	2,974,225

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	456,866	452,202
保険引受収益	425,023	423,491
(うち正味収入保険料)	352,736	339,188
(うち収入積立保険料)	35,019	37,589
(うち積立保険料等運用益)	13,104	13,064
(うち責任準備金戻入額)	24,066	33,633
資産運用収益	31,124	27,276
(うち利息及び配当金収入)	28,015	28,976
(うち金銭の信託運用益)	739	122
(うち有価証券売却益)	15,172	10,985
(うち積立保険料等運用益振替)	△13,104	△13,064
その他経常収益	718	1,434
経常費用	435,188	432,098
保険引受費用	364,407	355,914
(うち正味支払保険金)	198,870	197,654
(うち損害調査費)	17,897	17,243
(うち諸手数料及び集金費)	60,905	56,981
(うち満期返戻金)	86,322	82,400
(うち支払備金繰入額)	247	1,272
資産運用費用	6,233	13,545
(うち金銭の信託運用損)	938	719
(うち有価証券売却損)	1,393	2,863
(うち有価証券評価損)	2,081	6,427
営業費及び一般管理費	64,211	62,199
その他経常費用	335	438
(うち支払利息)	22	20
経常利益	21,678	20,104
特別利益	123	107
特別損失	1,799	1,555
特別法上の準備金繰入額	1,318	1,342
価格変動準備金繰入額	1,318	1,342
その他	480	213
税引前中間純利益	20,002	18,655
法人税及び住民税	10,663	6,870
法人税等調整額	△2,560	△934
中間純利益	11,899	12,719

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	91,249	91,249
当中間期末残高	91,249	91,249
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	46,702	46,702
当中間期末残高	46,702	46,702
その他資本剰余金		
前期末残高	—	—
当中間期変動額		
自己株式の消却	—	—
自己株式の処分	△44	△58
負のその他資本剰余金の振替	44	58
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	—	—
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	34,347	35,647
当中間期変動額		
利益準備金の積立	1,300	1,300
当中間期変動額合計	1,300	1,300
当中間期末残高	35,647	36,947
その他利益剰余金		
配当引当積立金		
前期末残高	34,385	34,385
当中間期末残高	34,385	34,385
異常損失準備金		
前期末残高	54,000	54,000
当中間期末残高	54,000	54,000
海外投資等損失準備金		
前期末残高	0	0
当中間期変動額		
海外投資等損失準備金の取崩	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	0	0
特別償却準備金		
前期末残高	8	—
当中間期変動額		
特別償却準備金の取崩	△4	—
当中間期変動額合計	△4	—
当中間期末残高	4	—

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
圧縮記帳積立金		
前期末残高	3,119	2,992
当中間期変動額		
圧縮記帳積立金の積立	—	—
圧縮記帳積立金の取崩	△541	—
当中間期変動額合計	△541	—
当中間期末残高	2,578	2,992
別途積立金		
前期末残高	25,962	25,962
当中間期末残高	25,962	25,962
繰越利益剰余金		
前期末残高	19,776	10,994
当中間期変動額		
利益準備金の積立	△1,300	△1,300
剰余金の配当	△5,971	△5,716
海外投資等損失準備金の取崩	0	0
特別償却準備金の取崩	4	—
圧縮記帳積立金の積立	—	—
圧縮記帳積立金の取崩	541	—
中間純利益	11,899	12,719
負のその他資本剰余金の振替	△44	△58
当中間期変動額合計	5,128	5,644
当中間期末残高	24,904	16,638
自己株式		
前期末残高	△23,318	△51,592
当中間期変動額		
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の消却	—	—
自己株式の処分	84	141
当中間期変動額合計	△37,736	100
当中間期末残高	△61,055	△51,492
株主資本合計		
前期末残高	286,231	250,340
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,971	△5,716
中間純利益	11,899	12,719
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の処分	39	82
当中間期変動額合計	△31,853	7,045
当中間期末残高	254,377	257,385

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	474,695	284,592
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△24,424	△71,621
当中間期変動額合計	△24,424	△71,621
当中間期末残高	450,270	212,970
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	87	1,790
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	84	△765
当中間期変動額合計	84	△765
当中間期末残高	171	1,024
評価・換算差額等合計		
前期末残高	474,782	286,382
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△24,340	△72,387
当中間期変動額合計	△24,340	△72,387
当中間期末残高	450,442	213,995
新株予約権		
前期末残高	268	408
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△37	△114
当中間期変動額合計	△37	△114
当中間期末残高	231	294
純資産合計		
前期末残高	761,282	537,131
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,971	△5,716
中間純利益	11,899	12,719
自己株式の取得	△37,821	△40
自己株式の処分	39	82
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△24,377	△72,501
当中間期変動額合計	△56,231	△65,456
当中間期末残高	705,051	471,674

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

7. その他の情報

(1) 当中間期の損益状況（連結）

（単位：百万円）

区 分		前中間連結会計期間 （自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）	当中間連結会計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）	比較増減	増減率	
経 常	保 険 引 受 収 益	440,183	438,621	△1,561	△0.4	
	（うち正味収入保険料）	(358,480)	(344,887)	(△13,593)	(△3.8)	
	（うち収入積立保険料）	(35,019)	(37,589)	(2,569)	(7.3)	
	（うち生命保険料）	(31,000)	(32,193)	(1,193)	(3.8)	
	保 険 引 受 費 用	376,020	368,117	△7,903	△2.1	
	（うち正味支払保険金）	(201,726)	(200,467)	(△1,258)	(△0.6)	
	（うち損害調査費）	(18,258)	(17,651)	(△606)	(△3.3)	
	（うち諸手数料及び集金費）	(63,660)	(59,894)	(△3,765)	(△5.9)	
	（うち満期返戻金）	(86,322)	(82,400)	(△3,922)	(△4.5)	
	（うち生命保険金等）	(5,572)	(5,465)	(△107)	(△1.9)	
	損	資 産 運 用 収 益	34,597	31,796	△2,800	△8.1
		（うち利息及び配当金収入）	(31,068)	(32,563)	(1,494)	(4.8)
（うち有価証券売却益）		(15,283)	(11,587)	(△3,696)	(△24.2)	
資 産 運 用 費 用		5,257	12,176	6,918	131.6	
（うち有価証券売却損）		(1,393)	(2,863)	(1,469)	(105.5)	
（うち有価証券評価損）		(2,092)	(6,453)	(4,361)	(208.4)	
益	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	71,725	70,474	△1,251	△1.7	
	そ の 他 経 常 損 益	161	687	526	326.3	
	経 常 利 益	21,938	20,339	△1,599	△7.3	
特 別 損 益	特 別 利 益	123	107	△16	△13.3	
	特 別 損 失	1,835	1,606	△229	△12.5	
	特 別 損 益	△1,711	△1,499	212	-	
	税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	20,226	18,840	△1,386	△6.9	
	法 人 税 及 び 住 民 税 等	10,858	7,525	△3,333	△30.7	
	法 人 税 等 調 整 額	△3,226	△1,538	1,687	-	
	少 数 株 主 利 益	28	17	△11	△38.9	
	中 間 純 利 益	12,565	12,836	270	2.2	

(2) 種目別保険料・保険金 (連結)

連結

① 元受正味保険料 (除く収入積立保険料)

区 分	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)			当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	60,618	16.1	△3.7	59,477	16.4	△1.9
海 上	12,959	3.4	11.6	12,053	3.3	△7.0
傷 害	30,700	8.1	△3.6	28,911	8.0	△5.8
自 動 車	170,058	45.2	△0.9	167,656	46.2	△1.4
自動車損害賠償責任	53,962	14.3	0.2	45,707	12.6	△15.3
その他の	48,490	12.9	4.2	49,027	13.5	1.1
合 計	376,789	100.0	△0.4	362,833	100.0	△3.7

② 正味収入保険料

区 分	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)			当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	47,719	13.3	△5.3	46,442	13.5	△2.7
海 上	11,167	3.1	6.8	10,545	3.1	△5.6
傷 害	31,193	8.7	△3.3	29,090	8.4	△6.7
自 動 車	169,967	47.4	△1.1	167,454	48.5	△1.5
自動車損害賠償責任	52,314	14.6	△1.8	45,404	13.2	△13.2
その他の	46,119	12.9	4.9	45,950	13.3	△0.4
合 計	358,480	100.0	△1.0	344,887	100.0	△3.8

③ 正味支払保険金

区 分	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)			当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	20,364	10.1	△18.7	19,599	9.8	△3.8
海 上	4,305	2.1	10.8	3,321	1.7	△22.8
傷 害	14,837	7.4	4.0	16,374	8.2	10.4
自 動 車	101,016	50.0	1.8	99,247	49.4	△1.8
自動車損害賠償責任	37,481	18.6	△3.8	37,546	18.7	0.2
その他の	23,720	11.8	△0.8	24,378	12.2	2.8
合 計	201,726	100.0	△1.7	200,467	100.0	△0.6

(注) 上記各表の諸数値はセグメント間の内部取引を相殺する前の数値であります。

(3) 有価証券関係（連結）

連結

有価証券

① 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)			前連結会計年度末 (平成20年3月31日)		
	中間連結 貸借対照 表計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)	連結貸借 対照表 計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	199,091	197,340	△1,751	178,283	174,426	△3,856
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-
合 計	199,091	197,340	△1,751	178,283	174,426	△3,856

② 責任準備金対応債券で時価のあるもの

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)			前連結会計年度末 (平成20年3月31日)		
	中間連結 貸借対照 表計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)	連結貸借 対照表 計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	3,533	3,549	15	1,523	1,530	6
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-
合 計	3,533	3,549	15	1,523	1,530	6

③ その他有価証券で時価のあるもの

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)			前連結会計年度末 (平成20年3月31日)		
	取得原価 (百万円)	中間連結 貸借対照 表計上額 (百万円)	差 額 (百万円)	取得原価 (百万円)	連結貸借 対照表 計上額 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	1,054,788	1,060,688	5,899	1,108,371	1,124,603	16,231
株 式	360,714	703,584	342,869	363,206	796,924	433,718
外 国 証 券	376,371	361,826	△14,545	341,600	340,182	△1,417
そ の 他	22,475	21,522	△952	29,169	26,898	△2,271
合 計	1,814,350	2,147,622	333,271	1,842,347	2,288,608	446,260

(注)

当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>1. その他有価証券で時価のあるものについて6,259百万円減損処理を行っております。なお、時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。</p> <p>2. 中間連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている貸付債権信託受益権等を「その他」に含めております。</p>	<p>1. その他有価証券で時価のあるものについて9,302百万円減損処理を行っております。なお、時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。</p> <p>2. 連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている貸付債権信託受益権等を「その他」に含めております。</p>

④ 時価評価されていない主な有価証券の内容及び中間連結貸借対照表（連結貸借対照表）計上額

当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>その他有価証券</p> <p>公社債 1,500 百万円</p> <p>株式 28,046 百万円</p> <p>外国証券 36,134 百万円</p> <p>その他 38,049 百万円</p> <p>(注) 中間連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金を「その他」に含めております。</p>	<p>その他有価証券</p> <p>公社債 2,000 百万円</p> <p>株式 20,498 百万円</p> <p>外国証券 37,503 百万円</p> <p>その他 44,105 百万円</p> <p>(注) 連結貸借対照表において現金及び預貯金として処理されている譲渡性預金並びに買入金銭債権として処理されているコマーシャルペーパーを「その他」に含めております。</p>

(4) 金銭の信託関係（連結）

連結

金銭の信託

① 満期保有目的の金銭の信託

当中間連結会計期間及び前連結会計年度のいずれにおいても該当事項はありません。

② 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

種 類	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)			前連結会計年度末 (平成20年3月31日)		
	取得原価 (百万円)	中間連結 貸借対照 表計上額 (百万円)	差 額 (百万円)	取得原価 (百万円)	連結貸借 対照表 計上額 (百万円)	差 額 (百万円)
金銭の信託	37,000	36,670	△329	37,000	37,087	87

(注)

当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
上記記載以外に取得原価をもって中間連結貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が1,482百万円あります。	上記記載以外に取得原価をもって連結貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が577百万円あります。

(5) デリバティブ取引関係（連結）

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

対象物の種類	取引の種類	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)			前連結会計年度末 (平成20年3月31日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)	契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
通貨	為替予約取引						
	売 建	19,117	18,421	696	20,803	20,394	408
	買 建	-	-	-	315	316	0
	小 計	-	-	696	-	-	409
金利	スワップ取引	20,000	45	45	148,000	29	29
債券	債券店頭オプション取引						
	売 建	1,555 (4)	1	2	- (-)	-	-
その他	天候デリバティブ取引						
	売 建	5 (0)	0	0	- (-)	-	-
	クレジットデリバティブ取引	19,000	△88	△88	13,000	△26	△26
	小 計	-	-	△87	-	-	△26
合 計		-	-	656	-	-	411

当社グループでは、主に資産運用等における市場リスクを軽減することを目的としてデリバティブ取引を利用することを基本方針としておりますが、収益の獲得を目的とした取引についても一定の範囲内で行っております。なお、表中の金利スワップ取引は、ALM（資産・負債の総合管理）を目的とした取引であります。

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は開示の対象から除いております。

2. 「契約額等」の欄の（ ）書きはオプション料の金額であります。

<参考資料>

1. 保険引受損益の状況

(1) 総括表

(単位：百万円)

科目		期別	前中間 会計期間	当中間 会計期間	比較増減	増減率			
保 險 引 受 損 益	元受正味保険料①		368,163	354,539	△13,623	△3.7%			
	正味収入保険料②		352,736	339,188	△13,547	△3.8%			
	正味支払保険金③		198,870	197,654	△1,215	△0.6%			
	損害調査費④		17,897	17,243	△653	△3.6%			
	正味事業費⑤		122,011	116,178	△5,833	△4.8%			
	(諸手数料及び集金費)⑥	(60,905)	(56,981)	(△3,924)	(△6.4)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)⑦	(61,106)	(59,197)	(△1,908)	(△3.1)
	収支残高⑧		13,957	8,111	△5,845	△41.9%			
	保険引受利益⑨		107	7,923	7,815	7,253.9%			
	諸 比 率	正味損害率⑩		61.5%	63.4%	1.9%			
		正味事業費率⑪		34.6%	34.3%	△0.3%			
		収支残高率⑫		4.0%	2.4%	△1.6%			

(2) 元受正味保険料(除く収入積立保険料)の種目別内訳

(単位：百万円)

種目	期別	前中間会計期間			当中間会計期間		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災		59,122	16.1%	△4.3%	58,144	16.4%	△1.7%
海上		10,293	2.8%	△1.1%	9,852	2.8%	△4.3%
傷害		30,607	8.3%	△3.6%	28,817	8.1%	△5.8%
自動車		166,486	45.1%	△1.0%	163,703	46.2%	△1.7%
自動車損害賠償責任		53,962	14.7%	0.2%	45,707	12.9%	△15.3%
その他		47,691	13.0%	3.6%	48,315	13.6%	1.3%
合計		368,163	100.0%	△1.0%	354,539	100.0%	△3.7%

(3) 正味収入保険料の種目別内訳

(単位：百万円)

種目	期別	前中間会計期間			当中間会計期間		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災		47,455	13.5%	△5.4%	46,302	13.7%	△2.4%
海上		9,624	2.7%	△0.5%	9,274	2.7%	△3.6%
傷害		31,137	8.8%	△3.4%	29,031	8.6%	△6.8%
自動車		166,439	47.2%	△1.2%	163,546	48.1%	△1.7%
自動車損害賠償責任		52,219	14.8%	△1.8%	45,314	13.4%	△13.2%
その他		45,859	13.0%	4.6%	45,719	13.5%	△0.3%
合計		352,736	100.0%	△1.3%	339,188	100.0%	△3.8%

(4) 正味支払保険金の種目別内訳

(単位：百万円)

種目	期別	前中間会計期間			当中間会計期間			
		金額	増減率	正味 損害率	金額	増減率	正味 損害率	増減
火災		20,257	△19.2%	46.3%	19,478	△3.8%	45.3%	△1.0%
海上		3,978	10.3%	42.5%	3,273	△17.7%	36.4%	△6.1%
傷害		14,806	3.9%	52.0%	16,355	10.5%	61.4%	9.4%
自動車		98,854	1.6%	65.0%	96,886	△2.0%	64.7%	△0.3%
自動車損害賠償責任		37,401	△3.9%	77.0%	37,462	0.2%	88.7%	11.7%
その他		23,571	△1.0%	56.9%	24,199	2.7%	58.5%	1.6%
合計		198,870	△2.0%	61.5%	197,654	△0.6%	63.4%	1.9%

2. 自然災害の状況（地震災害を含む）

（単位：百万円）

種 目	期 別	前中間会計期間			当中間会計期間		
		①正味保険金	②支払備金	③合計(①+②)	④正味保険金	⑤支払備金	⑥合計(④+⑤)
火災	災	1,539	2,034	3,573	1,378	1,471	2,849
海上	上	0	3	4	0	-	0
傷害	害	6	3	10	10	3	14
自動車	動	106	47	153	769	276	1,046
その他	の	98	312	411	71	131	202
当年度発生合計		1,750	2,402	4,152	2,231	1,882	4,114
前年度以前発生合計		2,265			2,244		
総 合 計		4,015			4,475		

3. 事業費の状況

（単位：百万円）

損 害 調 査 費 + 営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	期 別	前中間会計期間		当中間会計期間		
		金 額	金 額	増 減 額	増 減 率	%
人件費	①	44,092	41,409	△2,682	△6.1	
物件費	②	33,730	33,907	177	0.5	
抛出金・負担金	③	230	224	△6	△2.7	
税金	④	4,055	3,901	△154	△3.8	
合 計	⑤	82,108	79,443	△2,665	△3.2	
保険引受に係る事業費	営業費及び一般管理費	⑥	61,106	59,197	△1,908	△3.1
	諸手数料及び集金費	⑦	60,905	56,981	△3,924	△6.4
	合 計	⑧	122,011	116,178	△5,833	△4.8

正味事業費率	⑨	34.6%	34.3%	△0.3%
--------	---	-------	-------	-------

4. 支払備金の状況

（単位：百万円）

種 目	期 別	前中間会計期間末		当中間会計期間末	
		残 高	積 増 額	残 高	積 増 額
火災	災	32,105	1,857	30,899	2,090
海上	上	9,431	△258	8,702	261
傷害	害	15,108	△809	20,264	△731
自動車	動	122,951	△1,684	136,167	△2,014
自動車損害賠償	責	26,295	△1,366	26,036	△987
その他	の	62,209	2,510	63,915	2,655
合 計		268,102	247	285,984	1,272

5. 異常危険準備金の積立状況

（単位：百万円）

種 目	期 別	前中間会計期間末				当中間会計期間末				前事業年度末	
		取崩額	繰入額	残 高	積立率	取崩額	繰入額	残 高	積立率	残 高	積立率
火災	災	-	3,267	104,629	112.7%	-	3,198	111,192	122.8%	107,994	115.2%
海上	上	-	417	17,468	90.7%	-	434	18,321	98.8%	17,887	93.2%
傷害	害	83	962	33,690	54.1%	2,270	897	29,371	50.6%	30,744	54.6%
自動車	動	15,099	11,463	34,634	10.4%	14,215	11,292	19,832	6.1%	22,755	6.9%
その他	の	167	2,464	43,497	47.4%	548	2,219	46,515	50.9%	44,844	53.7%
合 計		15,350	18,575	233,920	39.1%	17,034	18,042	225,233	38.5%	224,225	38.4%

（注）積立率＝異常危険準備金の残高／正味収入保険料（除く家計地震・自賠責）×100

なお、中間期については、正味収入保険料（除く家計地震・自賠責）を2倍した上で算出しております。

6. 経常損益等の状況

(単位：百万円)

区 分		前中間会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	比較増減	増減率	
元受正味保険料(含む収入積立保険料) ①		403,182	392,128	△11,054	△2.7	
(元受正味保険料) ②		(368,163)	(354,539)	(△13,623)	(△3.7)	
経常	保 険 引 受 収 益 ③	425,023	423,491	△1,532	△0.4	
	(うち正味収入保険料) ④	(352,736)	(339,188)	(△13,547)	(△3.8)	
	(うち収入積立保険料) ⑤	(35,019)	(37,589)	(2,569)	(7.3)	
	(うち責任準備金戻入額) ⑥	(24,066)	(33,633)	(9,566)	(39.8)	
	保 険 引 受 費 用 ⑦	364,407	355,914	△8,493	△2.3	
	(うち正味支払保険金) ⑧	(198,870)	(197,654)	(△1,215)	(△0.6)	
	(うち損害調査費) ⑨	(17,897)	(17,243)	(△653)	(△3.6)	
	(うち諸手数料及び集金費) ⑩	(60,905)	(56,981)	(△3,924)	(△6.4)	
	(うち満期返戻金) ⑪	(86,322)	(82,400)	(△3,922)	(△4.5)	
	(うち支払備金繰入額) ⑫	(247)	(1,272)	(1,024)	(413.3)	
	損	資 産 運 用 収 益 ⑬	31,124	27,276	△3,847	△12.4
		(うち利息及び配当金収入) ⑭	(28,015)	(28,976)	(960)	(3.4)
(うち有価証券売却益) ⑮		(15,172)	(10,985)	(△4,187)	(△27.6)	
資 産 運 用 費 用 ⑯		6,233	13,545	7,312	117.3	
(うち有価証券売却損) ⑰		(1,393)	(2,863)	(1,469)	(105.5)	
(うち有価証券評価損) ⑱		(2,081)	(6,427)	(4,346)	(208.8)	
(うち金融派生商品費用) ⑲		(627)	(1,366)	(739)	(117.9)	
(うち投資損失引当金繰入額) ⑳		(987)	(1,398)	(411)	(41.6)	
益	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 ㉑	64,211	62,199	△2,012	△3.1	
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費) ㉒	(61,106)	(59,197)	(△1,908)	(△3.1)	
	そ の 他 経 常 損 益 ㉓	383	996	612	160.0	
	経 常 利 益 ㉔	21,678	20,104	△1,573	△7.3	
(保 険 引 受 利 益) ㉕	(107)	(7,923)	(7,815)	(7,253.9)		
特別損益	特 別 利 益 ㉖	123	107	△16	△13.3	
	特 別 損 失 ㉗	1,799	1,555	△243	△13.5	
	特 別 損 益 ㉘	△1,675	△1,448	226	-	
税引前中間純利益 ㉙	20,002	18,655	△1,347	△6.7		
法人税及び住民税 ㉚	10,663	6,870	△3,793	△35.6		
法人税等調整額 ㉛	△2,560	△934	1,625	-		
中間純利益 ㉜	11,899	12,719	820	6.9		
諸比率	正 味 損 害 率 ㉝	61.5%	63.4%	1.9%		
	正 味 事 業 費 率 ㉞	34.6%	34.3%	△0.3%		

(注) 各指標の計算方法は、29ページの「11. 各指標の計算方法」をご参照ください。

7. 有価証券の含み損益の状況

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	取得原価	中間貸借 対照表 計上額	差 額	取得原価	貸借対照表 計上額	差 額
公 社 債	947,135	950,442	3,307	997,125	1,008,613	11,488
株 式	357,829	697,506	339,676	360,320	790,382	430,061
外 国 証 券	369,449	354,952	△14,496	334,285	332,890	△1,394
そ の 他	22,475	21,522	△952	29,169	26,898	△2,271
合 計	1,696,890	2,024,424	327,534	1,720,900	2,158,784	437,884

(注) 時価のあるその他有価証券について記載しております。

8. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	938,496	1,015,107
資本金又は基金等	257,679	245,031
価格変動準備金	22,003	20,660
危険準備金	15	16
異常危険準備金	272,709	270,452
一般貸倒引当金	196	109
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	295,086	396,091
土地の含み損益	25,038	25,871
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	14,945	16,343
その他	80,713	73,216
(B) リスクの合計額	232,649	224,163
$\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$		
一般保険リスク (R ₁)	42,227	42,242
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	1	1
予定利率リスク (R ₃)	3,358	3,382
資産運用リスク (R ₄)	97,920	105,906
経営管理リスク (R ₅)	5,224	5,069
巨大災害リスク (R ₆)	117,695	101,924
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / { (B) × 1/2 }] × 100	806.7 %	905.6 %

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、「資本金又は基金等」は純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を控除した額であります。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の見積りを超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の見積りを超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の見積りを超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険 : 保険事故の発生率等が通常の見積りを超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
 - (一般保険リスク)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険 : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - (予定利率リスク)
 - ③資産運用上の危険 : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の見積りを超えて変動することにより発生し得る危険等
 - (資産運用リスク)
 - ④経営管理上の危険 : 業務の運営上通常の見積りを超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - (経営管理リスク)
 - ⑤巨大災害に係る危険 : 通常の見積りを超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
 - (巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み損益等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

9. 単体・連結の主要計数

(単位：億円)

	連結 (A)		単体 (B)		連単差 (A - B)	連単倍率 (A ÷ B)
	金額	増減率	金額	増減率		
経常収益①	4,752 4,716	△2.4 △0.8	— —	— —	— —	— —
正味収入 保険料②	3,584 3,448	△1.0 △3.8	3,527 3,391	△1.3 △3.8	57 56	1.02 1.02
経常利益③	219 203	125.4 △7.3	216 201	247.0 △7.3	2 2	1.01 1.01
中間純利益④	125 128	90.0 2.2	118 127	195.3 6.9	6 1	1.06 1.01
総資産⑤	36,252 32,659	△1.9 △9.9	32,958 28,627	△3.3 △13.1	3,293 4,031	1.10 1.14

(注) 1. 上段：19年9月中間期、下段：20年9月中間期
2. 20年9月中間期連結子会社数：6社、持分法適用会社数：0社

10. 平成21年3月期の通期業績予想

業績予想の前提は、平成20年5月21日公表の当初予想に最近の業績の動向及び経済環境を勘案して以下のとおりとしております。

保険引受に係る見通しにあたっては、平成20年4月1日以降始期契約の自賠責保険の料率改定の影響及び過去からの業績の推移と当中間期までの動向等を勘案した当社独自の予測に基づいております。なお、自然災害による正味支払保険金は90億円を織り込んでおります。

資産運用に係る見通しにあたっては、当初は株式相場等が概ね平成20年3月末の水準で推移する仮定によっておりましたが、今回は最近の株式相場等の状況が継続する仮定に変更しております。このため、資産運用損益は当初予想を下回るものと見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて上記の前提条件に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(1) 個別業績予想

(単位：億円)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益	
	金額	増収率	金額	増減率	金額	増減率
前回発表予想 (A)	6,700	△2.7	230	37.2	130	65.0
今回修正予想 (B)	6,600	△4.2	140	△16.5	90	14.3
増減額 (B - A)	△100	—	△90	—	△40	—

(参考) 正味収入保険料の内訳

(単位：億円)

種目	期別	平成20年3月期		平成21年3月期・業績予想	
		金額	増収率	金額	増収率
火災	災	958	△8.1	963	0.4
海上	上	191	△0.2	189	△1.2
傷害	害	563	△5.0	520	△7.6
自動車	動	3,312	△1.3	3,266	△1.4
自動車損害賠償責任	車	1,027	△0.9	830	△19.2
その他	の	834	2.9	830	△0.5
合計	計	6,888	△2.1	6,600	△4.2

(2) 連結業績予想

(単位：億円)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
前回発表予想 (A)	9,600	△1.6	230	29.6	130	44.6
今回修正予想 (B)	9,500	△2.6	140	△21.1	90	0.1
増減額 (B - A)	△100	—	△90	—	△40	—
増減率	△1.0	—	△39.1	—	△30.8	—

(注) 上表の前回発表予想は、平成20年5月21日公表の当初予想であります。

11. 各指標の計算方法

- (1) 保険引受利益＝保険引受収益－（保険引受費用＋保険引受に係る営業費及び一般管理費）±その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などがあります。
- (2) 正味損害率・正味事業費率
- ① 正味損害率＝（正味支払保険金＋損害調査費）／正味収入保険料×100
 - ② 正味事業費率＝（諸手数料及び集金費＋保険引受に係る営業費及び一般管理費）／正味収入保険料×100

(ご参考) 当社における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況 (平成20年9月末)

平成20年9月末の当社における証券化商品等への投資状況は以下のとおりであります。
 なお、連結子会社における保有はいずれもありません。

1. CDO (債務担保証券)

(単位: 億円)

	平成20年9月末 (平成20年度第2四半期)			(参考) 平成20年3月末 (平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額	時価	含み損益	減損処理額
CDO	150	△15	△2	160	△20	△39
格付があるもの	101	△8	-	102	△13	△28
格付がないもの	48	△6	△2	57	△7	△10

(注) 1. CDOの減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。

2. 格付のあるCDOの格付別内訳は、AAA45%、AA37%、A18%であります。
3. CDOの担保の種類は、大半(81%)がコーポレートを裏付け資産とするものです。
4. CDOの地域別内訳は、国内43%、海外57%であります。
5. CDOについては、ヘッジ取引を含むものはありません。
6. 格付別内訳、担保の種類及び地域別内訳の割合は、時価により算出しております。

2. CMBS (商業用不動産担保証券)

(単位: 億円)

	平成20年9月末 (平成20年度第2四半期)			(参考) 平成20年3月末 (平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額	時価	含み損益	減損処理額
CMBS	184	△2	-	210	△0	-
国内	184	△2	-	210	△0	-
海外	-	-	-	-	-	-

3. CDS (クレジット・デフォルト・スワップ)

CDSのうち、CDO等の証券化商品を参照しているものの保有はありません。

企業単一のクレジットを参照するCDS (想定元本60億円、時価△0億円、評価損益△0億円) 及び
 クレジット・リンク債 (想定元本130億円、時価△0億円、評価損益△0億円) を保有しております。

4. その他の関連投資

SPEs、レバレッジド・ファイナンス、金融保証、モノラインが保証する債券・証券化商品、その他のサブプライム・オルトAエクスポージャーはいずれも保有していません。

5. 上記1~4のうち、サブプライムローン関連の投資状況

上記1~4のうち、サブプライムローン関連の投資状況は以下のとおりです。

上記1. CDOのうち、サブプライムローン関連のクレジットが7%組み込まれたCDOを1件10億円 (取得原価) 保有しております。当社が投資している対象はAAAの高格付で、下位にはバッファとなる劣後クラスが存在することから、決算上の損益への影響はありません。

(単位: 億円)

	平成20年9月末 (平成20年度第2四半期)			(参考) 平成20年3月末 (平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額	時価	含み損益	減損処理額
CDO (格付があるもの)	8	△1	-	8	△1	-

【各種証券化商品の用語について】

- ・CDO : Collateralized Debt Obligation、多数の債券やローンを集めて資産プールを作り、これを裏付け資産として証券化した証券。なお、当社が保有するCDOの内、格付がないものはCLO (Collateralized Loan Obligation、多数のローンを裏付け資産として証券化した証券) のエクイティ部分を示す。
- ・CMBS : Commercial Mortgage-Backed Security、商業用不動産に対するローン債権を証券化した商品。
- ・CDS : Credit Default Swap、企業や証券化商品等を参照組織とし、そのクレジットを取引するスワップ契約。
- ・SPEs : Special Purpose Entities、SIV (Structured Investment Vehicle) 等、証券化商品等への投資を専門に行う特別目的事業体の総称。
- ・モノライン : 金融保証 (債券や証券化商品等の保証) に特化した保険会社。

2008年9月中間決算の補足資料

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期		2008年9月中間期	
				前年度比	前中間期比
①正味収入保険料 (増収率)	3,527 (△1.3%)	6,888 (△2.1%)	3,391 (△3.8%)	— (△1.7%)	△135 (△2.5%)
②総資産	32,958	29,742	28,627	△1,114	△4,330
③損害率	61.5%	65.4%	63.4%	△2.0%	1.9%
④事業費率	34.6%	34.9%	34.3%	△0.6%	△0.3%
⑤コンバインド・レシオ	96.0%	100.3%	97.6%	△2.7%	1.6%
収支残率	4.0%	△0.3%	2.4%	2.7%	△1.6%
⑥自動車					
・正味収入保険料 (増収率)	1,664 (△1.2%)	3,312 (△1.3%)	1,635 (△1.7%)	— (△0.4%)	△28 (△0.5%)
・収支残率	2.8%	△0.0%	4.4%	4.4%	1.6%
・損害率	65.0%	68.4%	64.7%	△3.7%	△0.3%
・事業費率	32.2%	31.6%	30.9%	△0.7%	△1.3%
⑦火災					
・正味収入保険料 (増収率)	474 (△5.4%)	958 (△8.1%)	463 (△2.4%)	— (5.7%)	△11 (3.0%)
・収支残率	8.0%	4.7%	12.5%	7.8%	4.5%
・損害率	46.3%	48.8%	45.3%	△3.5%	△1.0%
・事業費率	45.8%	46.5%	42.2%	△4.3%	△3.6%
⑧従業員数	7,954人	7,916人	8,005人	89人	51人
⑨代理店数	33,236店	32,012店	30,796店	△1,216店	△2,440店

- (注) 1. 損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) / 正味収入保険料 × 100
 2. 事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100
 3. コンバインド・レシオ = 損害率 + 事業費率
 4. 収支残率 = 100 - コンバインド・レシオ
 5. 前年度比、前中間期比の内、%表示のある項目は、それぞれの前年度、前中間期との差額を記載しております。
 6. 従業員数には代理店研修生及び営業職員等を含めず、社外からの出向者を含めております。

＜参考＞連結指標

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期		2008年9月中間期	
				前年度比	前中間期比
①経常収益	4,752	9,754	4,716	—	△36
②正味収入保険料 (増収率)	3,584 (△1.0%)	6,986 (△2.0%)	3,448 (△3.8%)	— (△1.8%)	△135 (△2.8%)
③生命保険料 (増収率)	310 (3.8%)	641 (3.6%)	321 (3.8%)	— (0.2%)	11 (—)
④経常利益	219	177	203	—	△15
⑤中間(当期)純利益	125	89	128	—	2

① 不良債権の開示

【リスク管理債権】

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
破綻先債権	1	0	0
延滞債権	24	22	18
3ヶ月以上延滞債権	0	0	0
貸付条件緩和債権	3	2	2
合計額	29	25	20
(貸付金残高に対する比率)	(1.2%)	(1.2%)	(0.9%)

(参考) 貸付金残高	2,330	2,148	2,190
------------	-------	-------	-------

【自己査定結果】

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
非分類	32,878	29,636	28,521
Ⅱ分類	78	105	106
Ⅲ分類	101	120	130
Ⅳ分類	27	100	67
(Ⅱ～Ⅳ分類計)	(207)	(327)	(305)
合計	33,086	29,963	28,826

(注) 1. 合計は償却・引当前の金額を記載しております。なお、Ⅲ・Ⅳ分類については全額償却・引当しております。
2. 2008年3月期のⅣ分類には、2007年中間期の固定資産の減損損失(1億円)は含まれておりません。

② 減損処理による有価証券の評価損

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
公社債	-	-	-
株式	16	45	15
外国証券	2	51	27
その他	1	-	21
合計	20	96	64

・適用した減損処理ルール

時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。

③ 米国サブプライムローン問題に関連する証券化商品などの損失発生状況

サブプライムローン問題に直接関連する損失は発生しておりません。
なお、当社が保有する証券化商品等の状況については参考資料の30ページをご参照ください。

④ 固定資産の減損処理

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
土地建物	0	3	0
その他の	0	1	0
合計	-	-	-
合計	1	5	1

⑤ 有価証券の含み損益

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
公社債	△11	114	33
株式	6,826	4,300	3,396
外国証券	169	△13	△144
その他の	1	△22	△9
合計	6,986	4,378	3,275

(注) 上記は時価のあるその他有価証券について、その取得原価と貸借対照表計上額との差額を記載しております。

⑥ 第三分野商品(注2)の販売状況

(単位：百件)

	2008年9月中間期 累計件数		本体	子会社
	件数	前中間期比増減件数		
契約件数	543	46	370	173

(注) 1. 本体、子会社別の件数およびその合計。2008年4月～2008年9月の累計件数
2. 医療保険・がん保険の集計(傷害保険や介護保険を含まない)

⑦ 自動車盗難の被害実態

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
支払件数	1,477件	3,189件	1,419件
支払保険金	13	27	10
支払備金	3	3	3

(注) 自社幹事契約の自社分(元受ベース)を記載しております。

⑧ 自然災害の影響

(単位：億円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
元受保険金	25	66	28
正味保険金	17	55	22
未払保険金(注2)	24	12	18

(注) 1. 当年度中に発生した自然災害にかかる支払保険金・未払保険金を記載しております。
2. 未払保険金=支払備金と回収支払備金のネット
3. 自然災害の金額には地震災害に係るものを含めております。

⑨ 異常危険準備金の残高・積立率・繰入額

(単位：億円)

種 目	2007年9月中間期			2008年3月期			2008年9月中間期		
	残高	積立率	繰入額	残高	積立率	繰入額	残高	積立率	繰入額
火災保険	1,046	112.7%	32	1,079	115.2%	66	1,111	122.8%	31
海上保険	174	90.7%	4	178	93.2%	8	183	98.8%	4
傷害保険	336	54.1%	9	307	54.6%	17	293	50.6%	8
自動車保険	346	10.4%	114	227	6.9%	227	198	6.1%	112
その他の	434	47.4%	24	448	53.7%	42	465	50.9%	22
合計	2,339	39.1%	185	2,242	38.4%	361	2,252	38.5%	180

(注) 1. 積立率=異常危険準備金の残高/正味収入保険料(除く家計地震・自賠責)×100
なお、中間期については、正味収入保険料(除く家計地震・自賠責)を2倍した上で算出しております。
2. 繰入額=グロスの繰入額

単体

⑩ 受再保険引受状況

(単位：億円)

種 目	2007年9月中間期		2008年9月中間期	
	受再正味保険料	受再正味保険金	受再正味保険料	受再正味保険金
火 災 保 険	28	8	26	8
海 上 保 険	19	12	18	10
傷 害 保 険	8	4	9	6
自 動 車 保 険	14	9	13	9
自 賠 責 保 険	400	374	308	374
そ の 他	24	4	15	6
合 計	497	414	393	414

⑪ 出再保険状況

(単位：億円)

種 目	2007年9月中間期		2008年9月中間期	
	出再正味保険料	出再正味保険金	出再正味保険料	出再正味保険金
火 災 保 険	145	23	144	15
海 上 保 険	26	6	24	6
傷 害 保 険	2	0	7	0
自 動 車 保 険	15	12	15	9
自 賠 責 保 険	418	386	312	381
そ の 他	42	8	41	5
合 計	651	439	546	420

⑫ 保険金・保険料のお客様への実際返戻額

(単位：百万円)

	2007年9月中間期	2008年3月期	2008年9月中間期
付随的な保険金の支払い漏れ	93	142	8
第三分野商品に係る保険金の不適切な不払い	3	5	-
合 計	96	147	8
火災保険等の適正な募集態勢の調査	608	1,577	1,061

以上